

令和4年度 第1回宇和島市発達支援拠点整備検討委員会 会議概要

【開催日時】

令和4年10月12日(水) 18:35~20:13 ※対面とZoomによるハイブリッド方式で開催

【開催場所】

宇和島市役所 801 会議室

【出席者】

「令和4年度第1回宇和島市発達支援拠点整備検討委員会参加者」名簿のとおり

【議事】

- *施設整備の進捗について
- *発達支援体制整備について
- *発達支援センターの機能について

【会議経過】

1 開会

事務局よりハイブリッド方式での開催について説明。

配布資料確認。

委員紹介(自己紹介)

協議内容に公開について

2 議事 ★議事進行は委員長

◎協議内容の公開について

(事務局): 公開のイメージを説明

(委員): 全会一致 異議なし

◎施設整備の進捗について

(事務局): 資料「令和4年度宇和島市発達支援拠点整備検討委員会資料」P1

(※以下資料)に基づき、施設整備のスケジュール、あけぼの園
移転説明会、避難経路検証等について説明。

[質疑応答・意見]

(委員): あけぼの園移転に関して概ね同意あるいは賛同の姿勢と理解できたが
保護者からの不安、意見への対応についてお聞かせ願いたい。

(事務局): 一番心配されている避難関係については、福祉課にて避難確保計画を作成し、
危機管理課で確認作業中。まとまったら保護者にも内容を発信していくなど
丁寧に対応していきたい。

◎発達支援体制整備について

(事務局)：資料P2～6に基づき、「発達支援体制整備」に関して、発達支援の方向性、発達支援に関する今年度の取り組みについて説明。

★関係機関・団体の取り組みについては、「発達障がい児者支援体制検討ワーキング部会」各部会員より説明。

[質疑応答・意見]

(委員)：基本理念のうち「ライフステージを通じた切れ目ない支援」について、ライフステージの具体的なイメージはあるか。乳幼児期からの支援をつなぎ、期間の長い成人期の支援や相談内容を見越した支援体制を構築してほしい。

(事務局)：成人期まで入る。成人期の対象としては、子育てをする世代までを想定している。

(委員長)：本委員会としてとりまとめていくテーマである。

(委員)：就学相談（教育相談を含む支援状況）について、子どもの数が減っているにも関わらず相談件数は年々増加し対応が追いつかない、もしくは充分検討ゆとりが持てない現状がある。

※このことに関し、ペアレント・メンターも活用や、他にも相談できる機会人材を増やす必要性等の意見交換があった。

◎発達支援センターの機能について

(事務局)：資料P7～12に基づき、先進事例の報告と、令和6年度開設当初の機能について説明。

※このことについて委員より意見をいただく。

(委員)：宇和島市は、各部署のよいところを合わせて総合力で取り組む。成人期を見据えた資源や力も活用していき、開設時にできる協議会ではさらに幅広い視点で意見交換がしていけるとよいのではないか。実動する会となる熱意も感じたのでこのままご推進いただきたい。地域全体で発達障がいへの理解を広げていけるようにする。各ライフステージの支援のつなぎも各機関がよい歯車となれるよう協力し合う。センターとしてはマネジメント機能も備えていることはありがたい。連携やチームとしてのつながりや支え合い等今後一緒に考えていきたい。

今後人材確保、複合施設内の連携なども検討していただきたい。

(事務局)：たくさんの方が待ち望んだ施設ということで、機能的にその役割が果たせるよう今後も準備を進めていきたいと考えている。

◎閉会

(事務局)：年度末に次回開催予定であることを予告する。